

とっとり県美応援団 事務局だより

2022. 5. 11 号

5月4日「みどりの日」は、爽やかな陽気で近くの公園や野山の散策にでかけたくなるような一日でした。翌5月5日は全国各地で気温が上がり、夏日を記録した地点が続出した「こどもの日」となったというニュースが新聞やテレビで話題になっていました。

今年はちょうどその日が旧暦二十四節気の「立夏」にあたるのだそうで、そうと知ると夏の始まりに相応しい日であったのだと思いました。

たまには旧暦を意識した日々を過ごし、四季折々の移ろいを感じて気持ちにゆとりが出来て面白いかも?!と、思います。身近な風物や場所など、ちょっと眺めていたい風景に目をとめて楽しむのもありかも?!では…。



<イラスト 京都[葵祭]>

応援団のための「美術館特別セミナー」が開催されます！

日時: 5月 29 日(日) 午後2時～4時 会場: 「倉吉未来中心セミナールーム(1)」
 講師: 尾崎信一郎氏(美術館整備局美術振興監) 定員: 30人 参加料: 無料
 申込: 事務局まで(5月 22 日〆切) 参加者名簿を作成します。参加者多数の場合は先着順とします。

今年度の「チーム活動」の紹介

2022年5月29日(日)
午後2時-4時 参加費無料

講師: 尾崎信一郎 (美術館整備局 美術振興監)
会場: 倉吉未来中心セミナールーム1
(鳥取県倉吉市歌麩寺町2-12-5)
*当日出席30名までご入場いただけます。
*お申し込みの上、ご来場ください。
*対応による調整のみ、変更はございません。

主催: 鳥取県教育委員会

01 美術館の過去と現在、そして鳥取県立美術館

鳥取県立美術館は三年後の開館に向かって、いよいよ建設工事が始まりました。美術館が姿を現していくタイミングを伺って、美術館整備局では将来美術館を支えていただく方々のために連続レクチャアを開催いたします。

美術館とは一体どのような施設であり、どのような役割が求められているのか。この問いに対しては様々な答えが予想されます。最初の連続レクチャアでは「美術館とは何か」という基本的な問題に焦点を絞り、美術館の成立と展開、コレクションや展覧会、そして今日直面する課題などについて学芸的な立場から三回にわたって議論します。

特に初回となる今回のレクチャアでは、いっしょに全体の基調講演として、私たちが求める新しい鳥取県立美術館の姿について考えてみたいと思います。県立応援団の方々を対象とした特別な連続レクチャアとなります。多くの方々の参加をお待ちしています。

尾崎 信一郎(おさき・しんいちろう、美術館整備局 美術振興監)

大阪大学文学部大学院西洋美術史学専攻博士課程単位取得退学。1987年より美術館に学芸員として勤務。1995年より国立国際美術館、1998年より京都国立研究所、主任研究員として勤務。2006年より鳥取県立博物館にて美術振興課長、2021年に館長。2022年より現職。著書として『絵画論を超えて』(東信堂、1999年)、『美術館と美術批評』(ブリック、2007年)など多数。企画展を主催者として『南の座標軸』(国立国際美術館、1997年)、『アウト・オブ・アクションズ』(ロス見代美術館、1998年)、『銀跡—戦後美術における身体と思考』(京都国立近代)、『生涯100年 彫刻家辻晋堂』(鳥取県立博物館、2010年)など多数。

| 広報チーム | 来館者対応チーム | 環境チーム | 後方支援チーム |
|---|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙の発行「び〜さぼ」発行(年:数回) ・SNSでの情報発信(随時) | <ul style="list-style-type: none"> ・美術館にかかる連続レクチャアへの参加(5, 7, 9月) ・対話型鑑賞ファシリテーター研修会参加(4, 10, 11, 12月) ・ワークショップつくりたい研修会参加(6月, 以降随時) | <ul style="list-style-type: none"> ・学習会(6月22日)「大御堂廃寺とこの地域の学びを深めるために」講師: 根鈴智津子氏 ・PFI事業者との情報交換会(2月) | <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの実施(6~7月頃)市内中学生へ対して→PFI事業者へ伝える ・対話会(月頃)トークイベント参加団体との情報交換 ・アーカイブ活動視察(月頃)倉吉博物館へ依頼 |

